

全鉄連流通動態調査結果表 2020年6分

(2020. 7. 29)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		5月実績	前月比	6月実績	前月比	6月実績	前月比	6月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	5,696	100.0%	44,803	116.2%	44,696	116.0%	5,803	101.9%	
	大阪	2,003	96.0%	17,073	108.7%	16,739	106.0%	2,337	116.7%	
	愛知	2,943	95.2%	4,863	102.5%	4,871	99.6%	2,935	99.7%	
	計	10,642	97.8%	66,739	113.1%	66,306	112.0%	11,075	104.1%	
形鋼	山形鋼	東京	17,476	97.4%	8,480	133.4%	8,458	123.8%	17,498	100.1%
		大阪	19,894	96.2%	7,933	112.0%	9,500	120.5%	18,327	92.1%
		愛知	7,784	95.7%	4,759	133.0%	4,782	121.6%	7,761	99.7%
		計	45,154	96.5%	21,172	124.4%	22,740	122.0%	43,586	96.5%
	溝形鋼	東京	17,477	102.3%	4,426	90.0%	6,037	133.7%	15,866	90.8%
		大阪	9,731	93.2%	6,307	155.2%	5,742	120.4%	10,296	105.8%
		愛知	5,749	106.7%	3,045	106.0%	3,312	131.8%	5,482	95.4%
		計	32,957	100.2%	13,778	116.3%	15,091	127.9%	31,644	96.0%
	H形鋼	東京	30,561	99.4%	15,033	111.1%	16,518	120.4%	29,076	95.1%
		大阪	43,847	97.7%	24,353	117.7%	26,608	122.6%	41,592	94.9%
		愛知	17,305	101.5%	10,670	112.9%	11,549	125.6%	16,426	94.9%
		計	91,713	99.0%	50,056	114.6%	54,675	122.5%	87,094	95.0%
合 計		169,824	98.5%	85,006	117.2%	92,506	123.2%	162,324	95.6%	
コ ラ ム	東京	8,898	98.3%	3,314	124.1%	3,321	117.7%	8,891	99.9%	
	大阪	13,477	104.6%	3,461	100.2%	3,898	136.2%	13,040	96.8%	
	愛知	1,156	94.5%	1,175	111.3%	1,167	103.9%	1,164	100.7%	
	計	23,531	101.6%	7,950	110.7%	8,386	123.2%	23,095	98.1%	
軽量C形鋼	東京	3,528	99.5%	1,809	102.8%	1,935	108.8%	3,402	96.4%	
	大阪	2,873	101.4%	1,652	116.5%	1,585	114.9%	2,940	102.3%	
	愛知	2,284	104.7%	904	98.6%	1,004	123.2%	2,184	95.6%	
	計	8,685	101.4%	4,365	106.6%	4,524	113.9%	8,526	98.2%	
総 計		212,682	99.0%	164,060	114.9%	171,722	118.4%	205,020	96.4%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京30 大阪20 愛知13 合計63社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。